

大館市教育委員会会議録

日 時 令和6年5月24日（金）
午後3時00分
場 所 大館市立長木公民館
第1，2研修室

大 館 市 教 育 委 員 会

大館市教育委員会会議録

1	開会の日時	日 時	令和 6 年 5 月 2 4 日（金）		午後 3 時 00 分
	及 び 場 所	場 所	大館市立長木公民館		第 1， 2 研修室
2 出席委員の氏名					
教育長職務代理人		山 田 和 人		委 員	工 藤 啓 子
委 員		根 田 穂美子		委 員	小笠原 正 卓
3 欠席委員の氏名					
4 委員以外の出席者職氏名		(なし)			
5 出席した職員の職氏名					
教 育 長		高 橋 善 之		学校教育課長補佐	工 藤 貴 胤
教 育 次 長		成 田 浩 司		学校教育課長補佐	柴 田 賢
教 育 監		長 岐 公 二		生涯学習課長補佐	羽 沢 秀 則
教 育 総 務 課 長		北 林 香 子		中 央 公 民 館 長	外 館 志
学 校 教 育 課 長		鈴 木 明		歴史文化課長補佐	篠 村 朋 子
教 育 研 究 所 長		米 澤 貴 子		教育総務課総務係長	柳 谷 真 希
生 涯 学 習 課 長		畠 山 慶 子			
歴 史 文 化 課 長		関 智 仁			
教育総務課長補佐		宮 崎 史 人			
6 会議録署名委員 教育長・根田委員					
7 会 議 書 記 教育総務課 総務係長 柳谷 真希					
8 教育長報告					
(1)		不登校児童生徒の状況と支援策の取り組みについて			
(2)		大館市教育支援委員会委員の任命について			
(3)		大館市図書館協議会委員の任命について			
(4)		第 8 次大館市社会教育中期計画について			
(5)		大館市民交流センター運営委員会委員の委嘱について			
(6)		大館市老壮大学入学式について			
(7)		特別展の開催について			
9 議 事					
議案第14号		令和 5 年度教育委員会の点検・評価表について			
議案第15号		令和 6 年度教育委員会の点検・評価項目について			
協議第22号		大館市教育委員会における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領の一部改正について			
協議第23号		令和 6 年度一般会計補正予算（第 1 号）案			
10 その他					
(報告)		一般財団法人大館市文教振興事業団 指定管理施設令和 5 年度事業報告			
(口頭)		大館学び大学ついて			
(口頭)		事故報告 4， 5 月分			
次回 6 月 2 5 日（火）長木公民館 第 1， 2 研修室					

教育長が教育委員会に報告する事項

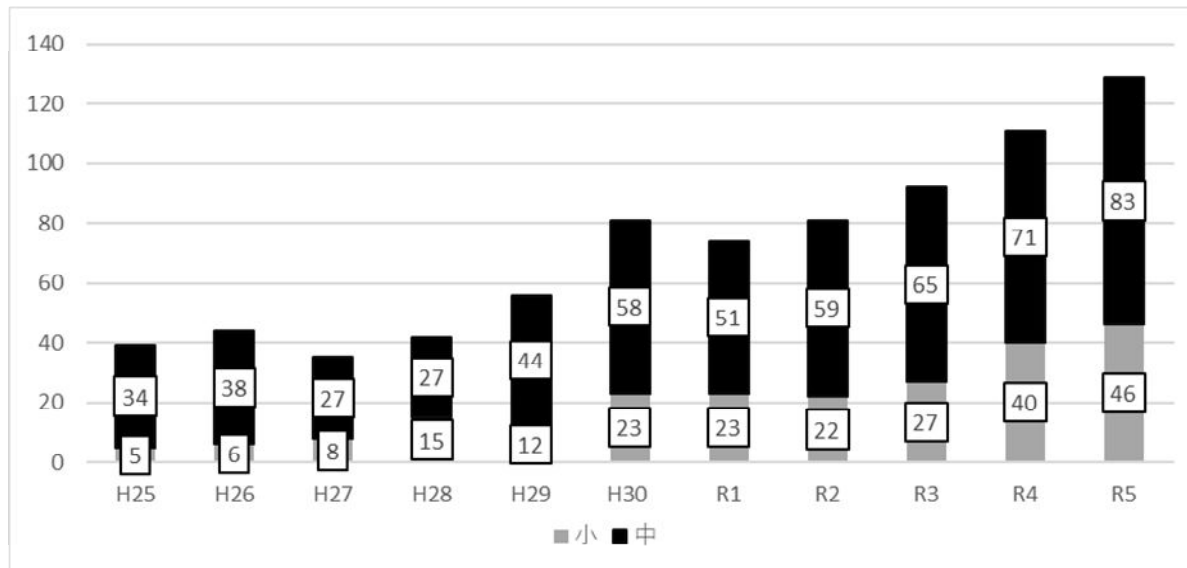
令和6年5月24日

担当課(教育研究所・学校教育課)

報 告 事 項	報 告 内 容
不登校児童生徒の状況と支援策の取り組みについて	<p>不登校児童生徒の推移を見ると、平成30年以来増加を続けています。教育研究所で毎月行っている「欠席状況調査」の中から、年間30日以上欠席の児童生徒についてまとめました。</p> <p>(1) 不登校児童生徒の推移 次ページ参照</p> <p>(2) 不登校児童生徒の支援策 いじめ・不登校対策事業推進委員会を設置し、諸問題の予防や克服のため組織的に支援にあたっています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 欠席状況調査の実施 毎月(8・9月、2・3月は合体) 各小・中学校との情報交換会の実施 夏季休業中 <参加者> 各校の教頭・生徒指導主事 少年相談センター所長・相談専門員 子ども課家庭相談員 適応指導教室おおとり教室指導員 特別支援教育アドバイザー 臨床心理士、教育研究所指導主事等 子育て相談会 年3回実施 関係機関による情報交換及び対応協議 (三者定例会) 年5回実施 「子ども、保護者、家庭 大館市サポート窓口」 案内作成 <p>(3) 子どもサミット代表会議 地域や学校を明るく、元気にする活動の一つとして、「メディアコントロール」に関わる活動に各校で取り組む予定です。</p> <p>(4) 幼保小中共通の課題(幼保小連携) 学習面や友人関係等の不安からSNSに依存し、生活習慣が乱れて復帰が難しくなっているケースもあります。(スマホ依存、ゲーム依存の増加と低年齢化)</p>

【不登校児童生徒の推移】

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
小	5	6	8	15	12	23	23	22	27	40	46
中	34	38	27	27	44	58	51	59	65	71	83
計	39	44	35	42	56	81	74	81	92	111	129



【子ども、保護者、家庭 大館市サポート窓口】



教育長が教育委員会に報告する事項

令和 6 年 5 月 2 4 日

担当課 （学校教育課）

報告事項	報告内容
大館市教育支援委員会委員の任命について	大館市教育支援委員会委員について、この度、関係機関の人事異動に伴い、次のとおり変更が生じ、前任者の残任期間を任命しましたので報告します。

大館市教育支援委員会委員

任期：令和5年4月1日から令和7年3月31日まで（2年間）

	氏名（ふりがな）	区 分	役 職	備 考
1	たんだい さとる 丹 代 諭	医師	大館市立総合病院 小児科 部長	再任
2	たかはし よしひろ 高 橋 義 博	医師	医療法人光智会 小児科医	再任
3	ふじおか ひろし 藤 岡 浩	学識経験者	大館市スクールカウンセラー 臨床心理士	再任
4	さとう まさよし 佐 藤 正 好	学識経験者	特別支援教育地域センター 特別支援教育アドバイザー	再任
5	いとう とみこ 伊 藤 登美子	教育関係者	秋田県立比内支援学校 校長	新任
6	はなた ちづる 花 田 千 鶴	教育関係者	城南小学校 校長	新任
7	とがし あきお 冨 樫 章 雄	教育関係者	川口小学校 教頭	再任
8	よねざわ ゆきえ 米 沢 志 江	教育関係者	扇田小学校 通級指導教諭	再任
9	みふね せいこ 御 船 聖 子	教育関係者	東中学校 教諭	再任
10	むらまつ かずこ 村 松 和 子	教育関係者	第一中学校 通級指導教諭	再任
11	かまた はるみ 鎌 田 晴 美	関係行政機関の職員	福祉部子ども課 課長補佐	再任
12	てづか いくこ 手 塚 郁 子	関係行政機関の職員	児童発達支援センターひまわり 所長	再任
13	さとう 佐藤 たけこ	関係行政機関の職員	福祉部子ども課 巡回支援専門員	再任
14	ひかげ あおい 日 景 葵	関係行政機関の職員	福祉部健康課 保健師	新任
15	やまもと たづこ 山 本 多鶴子	関係行政機関の職員	教育委員会 学校教育課・教育研究所 副主幹	再任

教育長が教育委員会に報告する事項

令和6年5月24日

担当課（生涯学習課）

報 告 事 項	報 告 内 容												
大館市図書館協議会委員の任命について	大館市図書館協議会委員は、よりよい図書館運営のための諮問機関として、関係団体等からの推薦のほか、様々な分野から教育委員会が任命しています。このたび、関係機関の人事異動等に伴い次の方に変更し、前任者の残任期間を任命しましたので報告します。												
	<table><tr><th>氏名</th><th>区分</th><th>所属</th></tr><tr><td>あぶかわ まりこ 虻川 麻里子</td><td>学校教育</td><td>大館市校長会</td></tr><tr><td>いとう さとし 伊藤 智</td><td>学校教育</td><td>大館市校長会</td></tr><tr><td>わかみや つかさ 若宮 司</td><td>社会教育</td><td>比内公民館</td></tr></table>	氏名	区分	所属	あぶかわ まりこ 虻川 麻里子	学校教育	大館市校長会	いとう さとし 伊藤 智	学校教育	大館市校長会	わかみや つかさ 若宮 司	社会教育	比内公民館
氏名	区分	所属											
あぶかわ まりこ 虻川 麻里子	学校教育	大館市校長会											
いとう さとし 伊藤 智	学校教育	大館市校長会											
わかみや つかさ 若宮 司	社会教育	比内公民館											
	<div>・任 期 自 令和6年4月 1日 至 令和7年3月31日</div>												

教育長が教育委員会に報告する事項

令和6年5月24日

担当課（生涯学習課）

報 告 事 項	報 告 内 容
第8次大館市社会教育 中期計画について	<p>令和6年3月21日議案第7号にて承認された「第8次大館市社会教育中期計画」について、策定が完了しましたので報告いたします。</p> <p>・計画期間 令和6年度から令和9年度までの4年間 別紙資料のとおり</p>

教育長が教育委員会に報告する事項

令和6年5月24日

担当課（中央公民館）

報 告 事 項	報 告 内 容		
大館市民交流センター運営委員会委員の委嘱について	大館市民交流センターに関する条例施行規則第7条に基づき次のとおり委嘱しましたので報告いたします。		
	氏 名	区 分	所 属
	やましる ひさかず 山城 久和	学識経験者	大館商工会議所 副会頭
	はたけやま たかひさ 畠山 貴久	学識経験者	あきた北農業協同組合 代表理事専務
	かしわざき はやと 柏崎 勇人	学校教育関係者	元小学校長
	のむら ゆうこ 野村 裕子	社会教育関係者	大館市生涯学習奨励員協議 会会長
	にゅうい のりこ 乳井 紀子	利用者代表	サークル利用者代表
	いとう さより 伊藤 さより	利用者代表	サークル利用者代表
	・任 期 自 令和6年5月 1日 至 令和8年4月30日		

教育長が教育委員会会議に報告する事項

担当課（中央公民館）

報 告 事 項	報 告 内 容				
大館市老壮大学入学式について	<p>去る４月２４日に、中央公民館において大館市老壮大学入学式を開催しました。</p> <p>学生数の減少が心配されましたが、今年度は新入生１４名を迎え昨年度より５名多い１０５名でのスタートとなりました。</p> <p>来賓の高橋教育長のあいさつでは、桜を題材とした数点の俳句が詠まれ、老壮大学生に笑いと感嘆の聲が上がりました。</p> <p>今年度は、男鹿水族館への館外研修や大館市出身歌手の佐藤真理子氏のコンサートも予定しており、１年間、元気に学ぶことを誓い合いました。</p> <p>入学式の後、辰年にちなみ「深堀！秋田三湖龍伝説」と題し、大館市文化財保護協会副会長の五十嵐^{おさむ}經氏による講話が行われ、老壮大学生は興味深げに話に聞き入っていました。</p> <p>令和６年度 老壮大学生の状況</p> <table border="0"> <tr> <td>１． 総数</td> <td>１０５名（平均年齢７９．２歳）</td> </tr> <tr> <td>２． 年代別人数</td> <td>６０代 １１名、７０代 ３７名 ８０代 ５２名、９０代 ５名</td> </tr> </table>	１． 総数	１０５名（平均年齢７９．２歳）	２． 年代別人数	６０代 １１名、７０代 ３７名 ８０代 ５２名、９０代 ５名
１． 総数	１０５名（平均年齢７９．２歳）				
２． 年代別人数	６０代 １１名、７０代 ３７名 ８０代 ５２名、９０代 ５名				
	 				

教育長が教育委員会に報告する事項

令和6年5月24日

担当課（歴史文化課）

報 告 事 項	報 告 内 容
特別展の開催について	<p>4月から6月にかけて、大館郷土博物館では「端午の節句展」と松山尚『ニンギョ様を祀る』写真展を開催しています。</p> <p>端午の節句展は、明治、大正、昭和初期から、戦後は昭和30年代、50年代を経て平成に至るまでの五月節句人形など、30組約150点を展示しているもので、古くは大館の老舗料亭「北秋くらぶ」の甲冑飾りや日本画家・奈良裕功氏のご息女から寄贈された珍しい「檜兜」も展示しています。</p> <p>また、松山尚『ニンギョ様を祀る』写真展は、大館市内で多くみられる人形道祖神の写真を展示しているもので、松山氏が写真撮影を担当した「ニンギョ様を祀る 秋田県大館市に見る人形道祖神を中心に」(2008(平成20)年初版、絶版)を刊行する際に収集した写真の中から、当館に寄贈された全29点を、今回初めて展示しました。</p> <p>○端午の節句展 期間 4月25日(木)～5月26日(日)</p> <p>○松山尚ニンギョ様を祀る写真展</p> <p>期間 4月25日(木)～6月16日(日)</p> <p>来館者数 235人(5/14現在)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>「端午の節句展」 4月25日(木)～5月26日(日)</p> <p><small>明治～戦後までの五月人形や、大館ゆかりの「北秋くらぶ」の甲冑飾り、 東北堂白紙の「檜兜」など、端午の節句にちなんで様々な品を展示します。</small></p>  </div> <div style="text-align: center;">  <p>松山 尚『ニンギョ様を祀る』 写真展 4月25日(木)～6月16日(日)</p> <p><small>市内在住の松山 尚氏が撮影した人形道祖神の写真を展示しています。</small></p>  </div> </div>

議 事 の 経 過	
	開会 午後 3 時 0 0 分
教育長	<p>ただ今より教育委員会会議を始めます。</p> <p>会議録署名委員については、私と根田委員にお願いします。</p> <p>会議録についていかがだったでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声あり)</p> <p>それでは、承認とさせていただきます。</p> <p>では、4 の教育長の報告事項をお願いします。</p>
各課長	<p>(「(1) 不登校児童生徒の状況と支援策の取り組みについて」</p> <p>「(2) 大館市教育支援委員会委員の任命について」</p> <p>「(3) 大館市図書館協議会委員の任命について」</p> <p>「(4) 第 8 次大館市社会教育中期計画について」</p> <p>「(5) 大館市民交流センター運営委員会委員の委嘱について」</p> <p>「(6) 大館市老壮大学入学式について」</p> <p>「(7) 特別展の開催について」</p> <p>を、資料により報告)</p>
教育長	<p>ご質問等ございませんか。</p>
委員	<p>教育研究所の不登校の推移の話に関心を持って聞かせていただきました。</p> <p>きめ細かい調査と取り組みがよく分かるのと、不登校の人たちが多くなっていることが心配なことだと思いながら、報告を聞かせていただきました。</p> <p>子どもサミットのことですが、子どもたちが自ら立ち上がって、メディアコントロールに関する活動にこれから取り組んでいくということをととても心強く思い感心しています。</p> <p>幼少の頃からのメディアコントロールに関する親御さんへの教育も大事なことだと思います。今後のために入学前の子どもたち、保護者への取り組みをしっかりと、メディアコントロールについて考えてもらいたいと思います。</p> <p>あと、老壮大学についてです。</p> <p>この年代を見ると驚くばかりで、素晴らしいなと思います。</p> <p>この『老壮大学』という名前ですが、私が昨年度山梨県韮崎市の大村智（おおむらさとし）先生のご自宅に伺ったときに、市役所の方々もいらして、今までは『老壮大学』という名前だったけれども、〔韮崎市シニアカレッジ〕という名前をつけるようにするのだというお話をしていました。</p> <p>私も知り合いの方に聞いたときに、例えば広島では〔シニア大学〕とか、愛知では〔シルバーカレッジ〕とか、そのような名前に変更する市の取り組</p>

	<p>みがやや増えてきているような感じを受けました。</p> <p>確かに、『老壮大学』で問題もなく間違いはないのですが、「老壮」という言葉が今の方々にあまりふさわしくないような、かつては、60歳を過ぎて退職をして、同じ年代の方と楽しくということもあったかもしれませんが、今は退職後も継続して働き、さらに65歳まで働いている、そういうことを考えると、その「老壮」という言葉があまりふさわしくなくなっているのではないかという思いもします。</p> <p>ただ、これは私の個人的な意見と、他の市町村のことを伺ったことのお知らせなのですが、一応私の考えとしてお伝えしておきたいと思いました。</p> <p>それからもう1つ、昨日、博物館に寄らせていただいたときに、道祖神の非常に珍しい、民間の皆さん方が作り上げて支えてきた神様の写真を展示していました。1つのアートのようなニンギョ様を大変興味深く、楽しみながら、親しみを感じながら拝見してきました。とてもいい展覧会だなと思っておりました。今となってはアートのようにも見えるのだけれども、かつては民間の信仰の神様であり地域 みんなが心を込めて作り上げていったということが非常に大事なことでありました。</p> <p>ただ、今は後継者が少なく作る方もいなくなっていることもあり、残念ではあるのですが、かつて信仰でみんなを支えてくれた神様だということを、たくさんの方々に知らせておきたい気持ちでした。</p> <p>博物館もこれからまたこういうことがあったら、たくさんの市民の皆さんにお知らせしていただければいいかなと思います。</p>
教育長	中央公民館長、老壮大学の名称について何かありますか。
中央公民館長	<p>運営委員の方々と会議を開きながら考えていきたいと思っております。</p> <p>このお話を参考にさせていただいた後、他市町村の状況も調べ、話し合いを持たせていただければと思います。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございます。</p>
教育長	<p>実は、私この入校式のときにそのことも触れました。今の時代の様相としては合わないなということです。</p> <p>やはり、少しそこを検討すべき時代になっているなとは思いますが、委員の皆さまいかがでしょうか。</p>
委員	<p>私は「老壮」という言葉が好きです。というのは、中国の方の 老壮思想 を思い出すのです。</p> <p>老壮という言葉は、ある意味時代や人を超越する、ストレスから超越されるという意味で、ちょうどそういう生き方を指し示す思想・発想という意味で、例えばひらがなにしてもいいと思うし、そういう形もあるのかなと思います。あるものを別の形で、教育長がおっしゃったような形で名前を残すというのも1つの方法かなと感じます。</p>

中央公民館長	ありがとうございます。
教育長	いろいろな角度から検討して、一番いいのは、入学しているご本人たちが素敵な名前を考えてくれればいいのだと思います。
委員	参加している会員の方々のご意見が一番大事かと思います。
教育長	不登校の問題等も含めて、他にございませんか。
委員	<p>不登校についてご説明ありがとうございました。</p> <p>本当にご難儀されていると思います。</p> <p>その中でいろいろご説明をいただいたわけですが、実は気になっていることがあります。生徒数は減ってきているのに対して人数が多くなってきているということで、もちろん率が上がってきているということになるわけですね。</p> <p>その中で、おそらく教育研究所としては、原因の分析とか、それに対してその支援策をまとめてこういう形なのだと思うのですが、今回のこの資料だけだと、どうしてもスマホ依存、ゲーム依存の増加ということだけに論点が見えるわけです。ご存知の範囲で結構ですが、こういうふうなこともやはりその原因として考えられているのだ、それがあって率として高くなってくるといったことがほかであればご案内いただきたいですし、そこを起点とした対策や支援策がもちろんやったださっているとは思いますが、そこも含めてご紹介いただけるとありがたいです。</p>
教育研究所長	<p>中学校 8 校全部に県のスクールカウンセラーが配置されていますが、配置されたスクールカウンセラーの活用状況や相談内容を見たときに、例えば学習進路の問題、自分の性格や行動の問題、それから友人関係、あとは家庭内の問題と、メディア 1 つということではなくて、やはりいろいろな問題が複雑に絡み合っているのだなと思っております。</p> <p>そういうものに対応するためには教育研究所だけでは難しいので、これだけの関連機関があるということをおうちの方にも知っていただくよう、リーフレット、パンフレットを作って配布しています。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>そういう具体的な目に見える形、見える化といいますかそういうことが大事だと思うのです。例えば、どこに相談するのか、どういう形のものがあるのかということが保護者にとっても生徒にとってもあるのだということが分かりやすい形であるというのが一番感じたことかと思います。ぜひ手の届くところにあるみたいな形でご支援いただけるといいなと思っています。</p>
教育長	報告については、よろしいでしょうか。では、議事に入ります。

各課長	<p>(「議案第14号令和5年度教育委員会の点検・評価表について」 「議案第15号令和6年度教育委員会の点検・評価項目について」 を、資料より説明)</p>
教育長	<p>ご意見、ご質問はございませんか。</p>
委員	<p> 去年は、なぜそこを選んだのか、なぜそこを選んで話されるのですかということをお話いただけるといいですねと話をした折に、今日はほとんどの皆さんにご協力いただきまして、感謝申し上げたいと思っています。 その中で感想なのですが、学識経験者の方から非常に貴重なご発言がありまして、令和5年度の16ページです。 「大館の子どもたちは夢があるという数値が高かったが、ある新聞では、現在の若者の3割くらいは学力はあるが夢はないという記事を目にした。例えば、発展途上国のインドなどは夢があるが実践できないリスクを負っている。これまでのさまざまなふるさとキャリア教育の施策で培ってきたもの、品格などが熟していると感じるので、大館の子どもたちは数値だけでは捉えられない学力があると思う。」 非常に高いお褒めの言葉をいただいて、私は非常に心強いなと思ったと同時に、今回の皆さんの発表を聞いて、本当に教育委員会がさまざまな活動を一生懸命、元気に取り組まれているなという感想を持ちました。おそらく教育委員会が元気であるということは、まちが元気の源だろうなと思っています。 そして、38ページを割愛したのはなぜかなと思いました。二井田のディスコの話ですが、「サタデーナイト公民館ディスコ」ということは、60人を超える地元住民が参加して大変盛り上がったと記載されています。やはり元気のもとはここかなという感じでしたが、ぜひ引き続きお願いできればと思っています。 </p>
中央公民館長	<p> 今回は、数年前に企画倒れで終わってしまったものをやはりやりたいということで開催しました。先ほど表彰された二井田公民館が主催となりましたが、場所は比内公民館となり、参加されるであろう年代層の方々に合わせた曲でやらせていただきました。60人で、冷房がないのでみんなの熱気がたまりまして、汗だくになりながらも、皆さん楽しんでいた感があります。今年も場所を変えて、もう少し涼しいところで行いたいと考えております。 </p>
教育長	<p>50代が中心ですか。</p>
中央公民館長	<p>4、50代です。</p>
教育長	<p>ほかにございませんか。</p>

委員	<p>6年度の2ページの教育総務課ですが、いわゆる計画的な更新という中で、もしできればの話ですが長寿命化改修うんぬんということと推進ということで、年数長く使っていればいろいろなトラブルがあると思うのですが、これをどういうスキームでやられるのか、例えば一覧表とかお持ちでしょうか。</p>
教育総務課長	<p>今日はお示しできないのですが、作っております。</p>
委員	<p>承知しました。なかなか出せないことなのかもしれませんが、もし差し支えない範囲でいただけるといいなと思っています。検討ください。</p>
教育総務課長	<p>承知しました。</p>
教育長	<p>かなり膨大なデータがあって、それが全てというわけではないですが、大体の概要がわかるような資料でよろしいですか。</p>
委員	<p>結構です。 1つだけ気になっているのがあって、給食センターです。 この前、一時止まったことがあって、そこはちゃんとスキーム立てられているのかなというのが気になっているところです。 メンテナンスとか維持というか、しっかりとやっていかないと、故障があったときに大変なのかなという気がしますので、そこが入っていればいいのかなと思います。</p>
教育次長	<p>正直なところ、給食センターの計画は、立てていません。学校の方を今メインとしています。</p>
委員	<p>お答えいただいてありがとうございます。ぜひ逆にやられた方がいいのかなと思いますので、ご検討ください。</p>
委員	<p>おおだて型授業について、お聞きしたいと思います。本当に市をあげて事業効果とか研修会等々を進められて、素質が上がってきているのだろうなと考えているところです。 説明の中で、評価のところでは、学校質問紙、県学習状況調査等の質問紙のデータがあるのですが、先ほど数値では測られないとお話もあったのですが、質問紙だけでなく客観的なこの数値として、テストそのものの数値はどうかと少し知りたいと思ったところです。 それは、もしかしたらおおだて型授業の評価としては、市として捉えていないのかどうかも含めて、お聞きしたいと思います。</p>

教育研究所長	<p>県学習状況調査の教科の結果を見ますと、令和４年度と比べると、４年生は３教科、５・６年は４教科、中学校は５教科ずつというふうに考えると、小学校は１１項目中１０項目が県よりも上回っております。中学校は１０項目中３項目が上回っていますが、まだ少し県に届かなくてもだいたい県の平均値に近づいているというふうに捉えております。</p>
委員	<p>点検評価の最後のところの意味がわからなかったのですが、今の説明でわかりました。</p>
教育長	<p>年度によって違うのですね。県を超える場合もあるし、一步及ばない場合もあるし、ずっと下がっていて追いついてきたとかではない。</p> <p>ほかは、よろしいですか。それでは、この２つは承認の形でよろしいでしょうか。</p> <p>続きまして、次の議事について説明願います。</p>
教育総務課長	<p>（「協議第２２号大館市教育委員会における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領の一部改正について」を資料により説明）</p>
教育長	<p>今の説明では、具体的なイメージがちょっと湧かないのですが。</p>
教育総務課長	<p>実際にいろいろな場面で障害をお持ちの方と、それをお手伝いする方の間での感覚の違いというようなことがあって、それを助けようとする方は好意でやっていることが、そのように受け止められないというようなことです。そのような場面がおそらくあったために、不当な差別というのはどういうものかという事例を挙げて、要領の中で日頃の取り扱いでこんな場合はこうですと明示できる点を付け加えたということです。</p>
教育長	<p>デリケートな時代ですからね。これについてご質疑はございますか。</p>
委員	<p>要領別紙１「大館市教育委員会における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領に係る留意事項」の「第３ 不当な差別的取扱いの「例」と「具体例」という仕組みがありますが、現行が「具体例」で、改正案が「例」としてあるのですが、下の方、現行が「障害を理由に窓口対応を拒否する」、それを『障害があることを理由として、一律に窓口対応を拒否する』とされ、【一律に】が加えられているのですね。一律でない場合もあるということですか。</p> <p>つまり、一律だと全部駄目だとして拒否する、少しはもしかして拒否する場合もあるというふうにも解釈してしまうのですが、どういう意味なのでしょう。</p> <p>あくまでも私の解釈ですので教えてほしいのですが、一律にということだとちょっと逆に拒否する場合もあると考えてしまうのです。</p>

教育総務課長	確認して、後日お答えさせていただくことでよろしいでしょうか。
委員	まったく問題ありません。いわゆるデリケートな問題もはらむことなので、しっかりと現場の方々にご理解していただかないと、相当の問題が生じる場合があります。ぜひしっかりとご理解いただいてご説明いただいた方がいいのかなと思います。時間的には、まだ間に合うのですよね。
教育次長	これは、報告が遅くなったという形で、4月1日で施行されております。
委員	そうですか。それはそれとして結構ですので、しっかりと説明をお願いできればと思います。
教育次長	次回、説明いたします。
教育長	<p>それでは、次回に具体的な説明等があるということを前提にして、承認とさせていただきます。</p> <p>次に、(4)について説明願います。</p>
各課長	(「協議第23号令和6年度一般会計補正予算(第1号)案」を、資料により説明)
教育長	<p>補正予算について、ご質問ご意見等ございませんでしょうか。</p> <p>なければ、承認という形で進めさせていただきます。</p> <p>それでは、その他に入ります。</p>
教育総務課長	(「一般財団法人大館市文教振興事業団 指定管理施設令和5年度事業報告」を資料により報告)
教育長	ご質問ご意見等お願いいたします。
委員	樹海ドームの修繕について、いろいろなところからお金が出ていますが、気になるのが、大館市と秋田県で修繕の要望があるのですが、これについて決まりがあるのかどうかお伺いしたいです。
教育次長	<p>小破修繕は大館市、大規模修繕は県が負担ということで、その金額の境がどこかというのは決まっていません。</p> <p>これまでの実績で200万円ぐらいですが、そのときの市の財政状況によって県と話し合いながら、まず県にお願いするというケースも多々ございます。今までは話し合いの中で決めてきていました。</p>

委員	<p>築年数からすると、これから先、もっと大きな修繕が必要になるのではないかと分かりました。</p> <p>あと、事業団が黒字だからいいのですが、１５ページの７番「スウィングキッズジャパンツアー」、入場者数が６０人でグループ達成率が１７．７パーセント。これも先ほど課長からお話しがあったとおり、子どもたちのためということであればいいのかもしれませんが、あまりにも寂しいと来てもらう方々にも申し訳ないと思うので、集客に関しても何か改善点があればと思いました。</p>
教育長	他にございませんか。それでは、次をお願いします。
学校教育課長	(「大館市奨学資金への寄附について」を口頭報告)
教育長	今までの総額はいくらでしたでしょうか。
学校教育課長	１，０３２万円です。
教育長	ありがたいことですね。報告続けてください。
中央公民館長	(「大館学び大学ついて」を口頭報告)
教育長	１回目のときの年齢層としては、若い人たちが多かったですか。
中央公民館長	いいえ。ばらばらです。
教育長	<p>はい、わかりました。その他ないですか。</p> <p>なければ、今日は不登校の問題等につきまして、やはりそういうところを議論して、みんなで対策を講じていく、これがやはりこの会議の一番大切なことだと痛感いたしました。大変貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。</p>
教育総務課長	(「来月の開催日程」について)
教育長	<p>委員の皆さまから何かございませんか。</p> <p>それでは、以上を持ちまして、教育委員会会議を終了いたします。</p>
	会議終了時刻 午５時１０分